

# 決 算 報 告 書

## 第10期

自	2020年	4月	1日
至	2021年	3月	31日

**saveMLAK**

saveMLAK第10期(2020年度)決算にあたって

今季の決算にあたり1～9期と同様、非営利団体としての特性を考慮NPO法人会計基準に準拠することとした。  
「財務諸表の注記」で事業別損益の状態を表すにあたって、saveMLAKの事業を次の三つの事業に分けて表記した。

以下の通りである。

- 情報支援事業： Web上でのM・L・A・Kの被災・救援情報の蒐集と公開、支援に関連するシンポジウム、会議等の開催、参加、講演、広報活動。
- 被災地支援事業： 被災地からの要請による施設、学校等への人的、物的な支援事業。
- グッズ販売事業： 活動資金獲得のためのオリジナルグッズの販売事業。

提出書類

- |          |              |
|----------|--------------|
| 1. 決算報告書 | 表紙           |
|          | 活動計算書(損益計算書) |
|          | 貸借対照表        |
|          | 財務諸表の注記      |
| 2. 付表    | 総勘定元帳        |

活動計算書(損益計算書) 2020年4月1日～2021年3月31日(単位:円)

【経常収益】

【受取寄付金】

受取寄付金 325,882

【事業収益】

グッズ売上 49,970

【その他収益】

受取利息 6

経常収益計 375,858

【経常費用】

【事業費】

(人件費) 0

人件費計 0

(その他経費)

売上原価(事業) 0

通信費(事業) 0

広報費(事業) 8,250

支払手数料(事業) 743

その他経費計 8,993

事業費 計 8,993

2. 管理費

(人件費) 0

人件費計 0

(その他経費) 0

その他経費計 0

管理費 計 0

経常費用計 8,993

当期経常増減額 366,865

【経常外収益】

経常外収益 計 0

【経常外費用】

経常外費用 計 0

税引前当期正味財産増減額 366,865

当期正味財産増減額 366,865

前期繰越正味財産額 679,755

次期繰越正味財産額 1,046,620

	《資産の部》	
【流動資産】		
(現金・預金)		
普通 預金	1,046,620	
現金・預金 計	<u>1,046,620</u>	
流動資産合計		<u>1,046,620</u>
資産の部 合計		<u><u>1,046,620</u></u>
	《負債の部》	
【流動負債】		
流動負債 計	<u>0</u>	
負債の部 合計		0
	《正味財産の部》	
【正味財産】		
前期繰越正味財産額	679,755	
当期正味財産増減額	<u>366,865</u>	
正味財産 計		<u>1,046,620</u>
正味財産の部 合計		1,046,620
負債・正味財産合計		<u><u>0</u></u>

## 財務諸表の注記

## 1. 重要な会計方針

会計方針として財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(NPO法人会計基準協議会)によります。

## 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	金額	情報支援事業	被災地支援事業	グッズ販売事業	事業部門計	管理部門
経常収益					0	
1. 受取寄付金	325,882				0	325,882
2. 受取助成金	0				0	
3. 事業収益	49,970			49,970	49,970	
4. その他収益	6				0	6
経常収益計	375,858	0	0	49,970	49,970	325,888
経常費用	0				0	
(1)人件費	0				0	
人件費計	0	0	0	0	0	
(2)その他経費	0				0	
売上原価	0				0	
荷造発送費	0				0	
旅費交通費	0				0	
通信費	0	0			0	
広報費	8,250	8,250			8,250	
消耗品費	0				0	
貸借料	0				0	
雑費	0				0	
支払手数料	743	743			743	
支払報酬	0				0	
法人税住民税等	0				0	
その他経費計	8,993	8,993	0	0	8,993	
経常費用計	8,993	8,993	0	0	8,993	0
当期経常増減額	366,865					

2020年6月27日

saveMLAK プロジェクト御中

会計監査

石道尚子



会計監査報告書

監査時期：2019年4月1日から2020年3月31日

2019年度 saveMLAK 帳簿類を監査の結果、伝票類、証拠書類、通帳等と照合の結果、すべて正確であることを認めます。予算運用状況、その他財産管理状況は、すべて良好であると認めます。

以上